

平成27年 3月 3日

宮城県トラック協会会長 殿

塩釜警察署長



営業トラックによる交通死亡事故発生に伴う交通安全対策の依頼について
余寒いまだ退かざる候、貴職にはますます御清祥のこととお喜び申し上げます。

また、常日頃より交通安全活動に格別の御支援、御協力を賜り、深く感謝申し上げます。

さて、県内の交通事故情勢は、発生件数・死傷者数とも減少していますが、依然として高齢者の死者数が全体の約半数を占めています。

営業トラックによる交通事故については、平成18年から緩やかな減少傾向が続き、平成22年以降は横ばいで推移するとともに、死者数については平成20年以降一桁台で推移して増減を繰り返していました。

しかしながら、平成26年中の営業トラックによる交通事故死者は12人（前年比9人増加）と大幅に増加し、本年2月19日（金）午後0時19分ころ、多賀城市町前1丁目地内県の道仙台塩釜線（通称産業道路）において、路外施設から歩道を横断して車道に出ようとした大型トレーラーが歩道を走行してきた自転車に気付かないまま衝突転倒させて轢過する交通死亡事故が発生しました。

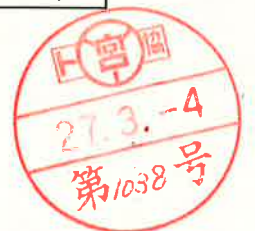
営業トラックによる交通事故の特徴は、

- 国道での交通事故は、全事故の構成率（約27.9%）と比較すると約17.2ポイント上回っている。
- 事故類型別では、追突事故が全事故の構成率（約45.6%）と比較すると約6.8ポイント上回っており、事故原因としては、漫然運転や安全確認が多くを占めている。
- 車両別では、大型車による事故が最も多く、事故の4割以上（122件、約44.4%）を占めており、次いで中型車（91件）、軽自動車（39件）、普通車（23件）の順で発生している。

前年と比較すると、発生件数は、大型車は前年同数、大型車以外は全て減少。等が挙げられますが、交通事故は、その大小を問わず、その関係者に大きな影響を及ぼすこととなりますことから、常日頃から安全運転の必要性を改めて認識していただく必要があります。

つきましては、同封いたしました「交通事故速報」を貴下各事業所に発出して会員及び会員職員の家族を含めた安全運転を徹底することはもとより、車両が路外施設に出入りする際は誘導員を配置して交通事故防止に万全を期すなど、より一層交通事故防止に努めていただくようお願い申し上げます。

担当 塩釜警察署交通課長
及 川 公 男
022-362-4141(内線410)



交通事故速報

多賀城市町前の産業道路歩道において

交通死亡事故発生！

塩釜警察署管内では、今年に入り既に2件の死亡事故が発生し、いずれも自転車の運転者が被害にあっています。

平成27年2月19日（木）午後0時19分ころ、多賀城市町前1丁目の産業道路において、駐車場から歩道を横断して道路に出ようとした大型トレーラー（多賀城市居住29歳男性運転）が歩道を進行中の自転車（仙台市宮城野区居住29歳男性運転）に衝突する交通死亡事故が発生しました。

事故現場は、車両置き場の駐車場入り口の、同駐車場から両側に植樹帯がある広い歩道を経て中央分離帯のある片側2車線の道路で、車道の交通量が多いものの、歩道の歩行者や自転車は少ない状況でした。

衝突された自転車は運転者と一緒に大型トレーラーの下敷きになり、車道中央部まで引きずられていました。



交通事故防止のアドバイス

- 適度な緊張感を持ち、道路状況に応じた安全な速度で運転すること。
- 駐車場から道路に出る際は、左右の安全を十分に確認すること。
- 歩行者や自転車の運転者は、駐車場等から出ようとしている車両の運転者が歩行者や自転車に気付いているかを確認して前を通過すること。
- ハンドルを握ったら、全席シートベルトを確認すること。
- 飲酒運転は犯罪です。絶対にしないこと。

を心掛けて、交通事故防止に努めましょう。

交通ルール 守るあなたが 守られる